

気象庁、40 度以上の日に新しい名前を検討「酷暑日」など

気象庁は、この夏の記録的な暑さを受けて、最高気温が 40 度以上の日に特別な名前をつけることを検討していると発表しました。候補には「酷暑日」などがあり、今後さらに話し合いを進める予定です。

今年の夏は、群馬県で国内最高気温の 41.8 度を観測しました。40 度以上を記録した日は 9 日、観測された場所ものべ 30 地点にのぼり、どちらもこれまでの記録を更新しました。

これまで日本では、最高気温に応じて次のような名前をつけています。

- 25 度以上 … 「夏日」
- 30 度以上 … 「真夏日」
- 35 度以上 … 「猛暑日」

しかし、40 度以上を観測する日が増えているため、国民に危険な暑さを簡単に伝えることが目的です。気象庁は、早ければ来年の夏から新しい名称を使いたいとしています。

(【参考】：NHK NEWS WEB/気象庁 最高気温 40 度以上の日に名称検討 候補に「酷暑日」など /2025 年 9 月)